

## 深大寺は2月14日まで分散初詣、秋に秘仏・元三大師像が上野で出開帳

年が明けても、出口の見えないコロナ禍が続いている。1月26日に久しぶりに調布の古刹・深大寺取材のために訪ねた。初春とはいえ境内を吹き抜ける風は冷たく、本堂前のムクロジの木もすっかり葉を落としている。2人連れの女性とその黒い種を拾っていた。「初詣で来ました。羽根突きの羽に使います」。

深大寺は「密」を避けるために、2月14日(旧暦1月3日)まで分散初詣期間。列をなすほどではないが、参拝する人は「新年のお参りにきました。鐘の音を聞きながら仏さんに手を合わせます。厄除けのお札を買いますが、この落ち着いた寺の風情が好きですね」と、口ぐちに話す。

深大寺は昨年の大晦日、NHKの「紅白歌合戦」の後の「ゆく年くる年」で放映され、令和3年午前0時の最初の鐘は深大寺から全国に生中継された。筆者も見ていたが、メイン会場になったのである。「秘仏の元三大師像の横顔を特別に照明され中継されました。ここ5年間で視聴率は1番良かったそうです」と、広報部の神原玄裕さんが話す。その神原さんに深大寺の今年の催事や厄除けの「降魔札」について聞いた。

☆

＜節分の豆まめ式は中止＞今年の節分は明治30年以来124年ぶりの「2月2日」。暦の上でいつもとは違う節分だが、深大寺では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から舞台での「豆まき式及び演目」は自粛(中止)。福豆、福耕、護符の授与が中心となる。

＜降魔札＞疫病退散を願い、コロナ禍の終息を願うお札として深大寺で最も人気の高いお札。東京だけでなく各地で注目されている。「私は佐賀出身ですが、九州でもこのお札は有名ですね」と神原さん。深大寺には高さ約2mという僧形では日本最大の元三大師像があり、昨年3月に東京都の有形文化財に指定された。第18代天台座主で、比叡山延暦寺の中興の祖と言われる良源が正月(元月)の3日に亡くなったことから俗称として元三大師と呼ばれている。伝承では平安時代に疫病が流行した際、角をはやした鬼の姿となり、その法力で厄病神を退散。弟子達に「この鬼の姿を版木で刷り、家々の玄関に貼るように」と命令したという。この「角大師」とも呼ばれ姿を刷ったものが降魔札で境内のお守り売り場で購入できる。玄関など出入口の外側に貼るものと玄関の内側や室内に貼る2枚セットで500円。悪魔を「降伏させる」が語源だそうだ。

＜秘仏・元三大師像の出開帳＞昨年秋に深大寺で10年ぶりの特別開帳(居開帳)を予定していたが、コロナ禍で中止に。今年の10月12日(火)～11月21日(日)まで上野の東京国立博物館で、江戸時代以来205年ぶりに公開される(出開帳)。天台宗祖・最澄の1200大遠忌を迎える今年に「最澄と天台宗のすべて」が開催されるにあたり、同展に特別出陳(仏さまなので展示とは言わない)。コロナ退治は全国民の願い。「厄除けの元三大師」へ手を合わせてコロナ終息を期待したい。(大泉 洋一)



### 【FC 東京応援記】

(日比生)

FC 東京が始動した。年明けルヴァンカップ優勝の高揚感とリーグタイトルへの飢餓感を併せ持ったスタートだ。補強では浦和から守備的MFの青木拓矢、山形から攻撃的MFの渡邊凌磨、GKに阿部伸行が11シーズン振りに復帰。元ブラジル代表DFブルーノ・ウヴィニの完全移籍も発表された(合流時期は未定)。新人はU18から大森理央と明大経由で戻った蓮川壮大の2名。ルヴァンでみせた4-3-3のシステムをより精度高くできるかが今期を左右する。同時に、若手がレギュラーを奪い取る底上げは絶対に必要だ。田川、岡崎、紺野、さあブレイクせよ！



小さな文字が見えにくくなったな、と思う方も多と思います。図書館には文字の大きな本「大活字本」があります。所蔵する本は「大活字本目録」を配布し、図書館ホームページにも掲載しています。分館は違う本に出合っただけのような年2回交換しています。利用は特別な手続きはなく、書架から選んでいただいたり、予約で取り寄せたりできますので、どうぞご利用ください。

# 2021年2月 番組表



＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

## 調布 C A T C H

J:COM 111chにて1日2回放送

【時間変更】2月10日(水) 17:55⇒21:25

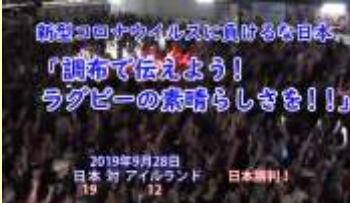

テレビ番組	月	火	水	木	金	土	日
	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55	8:55 17:55
	1日	15日	16日	28日			

① 新型コロナウイルスに負けるな日本 調布で伝えよう！ ラグビーの素晴らしさを！！  
新型コロナウイルスによるパンデミックの中、昨年、第5回「府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル 2020」と、調布市立国領小学校で、ラグビー選手を招いて、タグラグビーの指導及び体験授業が行われました。

② アートイベント「調布 巡る アートプロジェクト」 泉里穂さんのライブペインティングがグリーンホール1階で行われ、約10時間後作品が完成。来場者の密を避け、各作品を離れた場所に展示。アート関連の施設やショップを巡るスタンラリーにも約700名が参加。コロナ禍でも多くの市民がアートを身近に感じました。

① コロナ禍の調布市内の節分  
市内各所で予定されていた恒例の豆まきは、新型コロナのため中止。そんなコロナ禍、明治30年以来124年ぶりに「2月2日」に行なわれた、調布市内の節分の様子をお伝えいたします。


② リトルギャラリー:「楽しい！可愛い！心おどるタイルクラフトの世界」  
本間静香さんの作品展です。天然石タイル、磁器タイル、ガラスタイルなどさまざまな素材のタイルを平面や立体に組み合わせ合わせたカラフルで、楽しい作品をご紹介します。

ラジオ	「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)		
	調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！		
	月	放送日	内容ご紹介

2月  
1日(前編放送)  
8日(後編放送)  
15日(前編再放送)  
22日(後編再放送)

調布市郷土博物館 文化財係長の立川明子さんに、昨年下半年下布田遺跡で発掘された都内2例目の『縄文の籃(らん)胎(たい)漆器』(縄文時代の漆塗り)の話を中心に伺いました。




**HP** 新型コロナウイルスの影響で家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見てくださいませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

🔍 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP) (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)(2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局)(2015年～)




**特殊詐欺の新手口に注意**  
キャッシュカード切り込み

自宅に偽の警官を名乗る男が訪ねて来て「あなた名義のキャッシュカードが悪用されている。今、ここでカードに鉄を入れるので持って来てほしい」と言って、カードに切り込みを入れて持ち去る手口。「警官がカードを預かることはありません」と調布警察署(電話042-488-0110)が注意喚起。

**住宅用火災警報器**  
交換は設置から10年が目安

住宅用火災警報器は、早期に火災を感知して住宅火災から大切な命を守ります。東京都の火災予防条例により、居室、階段、台所の天井又は壁に設置することが義務付けに。だが、古くなると作動しなくなることがあります。「本体の交換は設置から10年が目安」と調布消防署(電話042-486-0119)



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ ●メール [catch@chofu-catch.sakura.ne.jp](mailto:catch@chofu-catch.sakura.ne.jp) ●☎070-5576-1429

●郵便〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター 気付

[編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14